

慢性期包括評価における患者分類のたたき台

提案された患者分類方法を基にたたき台を作成した。

1. 基本的考え方

患者毎に提供されるケアについて、A D L 自立度、認知症の程度、処置等による区分を設け、その組み合わせを基にした分類方式とした。

また、医療現場への導入しやすさに鑑み可能な限り簡便なものとした。

2. 具体的設定方法

医療提供実態から見た医療区分、 A D L 自立度と問題行動から見たケア区分によるマトリックスとする。

: 処置・病態・病名等による加算について医療必要度として3段階の区分

* 出来高で算定すべきもの（例：リハ、透析等）については出来高とする。

: A D L 自立度及び問題行動を反映させた3段階の区分

* 認知症については問題行動の中で反映させる。

(イメージ)

ケア区分	3			
	2			
	1			
		1	2	3

医療区分

医療区分のイメージ：

頻回の喀痰吸引、レスピレーター装着等 区分 3
褥そう 3 度、糖尿病（毎日注射） 区分 2

ケア区分のイメージ：

食事、排泄共に介助の場合 区分 3
どちらか一方で 区分 2